



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東
 コード番号 2370 URL http://www.medinet-inc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 佳司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 宗 TEL 045-478-0041
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	465	13.9	△374	—	△361	—	△370	—
27年9月期第1四半期	408	△22.4	△433	—	△293	—	△296	—

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 △368百万円 (—%) 27年9月期第1四半期 △288百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	△4.11	—
27年9月期第1四半期	△3.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第1四半期	9,002	6,819	75.3
27年9月期	8,897	7,173	80.3

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 6,774百万円 27年9月期 7,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,184	30.5	△2,355	—	△2,335	—	△2,345	—	△26.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※当社は第2四半期連結累計期間の業績予想を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期1Q	90,133,100株	27年9月期	90,133,100株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	－株	27年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期1Q	90,133,100株	27年9月期1Q	88,333,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・決算補足説明資料は本日平成28年2月5日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年10月1日から平成27年12月31日まで)の当社グループは、前連結会計年度より引き続き、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による規制環境の下、新たなビジネス展開による事業拡大に向けた取り組みを進めております。当第1四半期連結累計期間において、当社は、再生・細胞医療の産業化に不可欠な細胞加工技術者を派遣するビジネスを開始いたしました。また、前連結会計年度に締結したライセンス契約に基づき、当社の新規モノクローナル抗体(抗ヒトBTN3抗体(CD277))を用いた製品開発を目指しておりました。米国ベクトン・ディッキンソンアンドカンパニー(以下「BD社」)が、新商品開発に向けた検証を終え、商品化を決定し、全世界で販売することになりました。さらに、当社が出資し、ヨーロッパ諸国での細胞医療製品の開発・販売を目的に設立した英国TC BioPharm Ltd.は、当社が導出した細胞加工技術・ノウハウや蓄積した臨床実績をもとに、英国での細胞医療製品「ImmuniCell®」の治験を開始いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高については、免疫細胞療法総合支援サービス売上の増加、細胞医療用機器・資材売上の増加に加えて、前述の人材派遣売上、BD社からのライセンス収入等の発生もあり、売上高は465,347千円(前年同期比56,672千円増、13.9%増)となりました。研究開発活動については、引き続き、研究開発投資の収益獲得に向けた再評価を行い、研究開発費の適正化を図ったことにより、研究開発費は107,442千円(前年同期比38,904千円減、26.6%減)となりました。販売活動については、新たな事業展開に向けた取引先の開拓等の取り組みを継続している中で、販売活動の効率化を図ったことにより、販売費は81,538千円(前年同期比3,766千円減、4.4%減)となりました。また、前連結会計年度を通して行った新たな事業環境における細胞加工業及び細胞医療製品事業の推進・展開を図るための人員の拡充により、人件費が増加したこと等から、一般管理費は367,020千円(前年同期比18,338千円増、5.3%増)となりました。

その結果、販売費及び一般管理費は556,001千円(前年同期比24,332千円減、4.2%減)となり、営業損失は374,796千円(前年同期は営業損失433,422千円)となりました。

その他、受取利息10,989千円、外貨建ての長期貸付金の円換算等による為替差益4,634千円等の営業外損益により、経常損失は361,120千円(前年同期は経常損失293,800千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は370,446千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失296,682千円)となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

①細胞加工業

細胞加工業については、企業、大学、研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工受託を事業化するため、受注活動を積極的に進めておりますが、まだ売上を計上するまでには至っていないことから、医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービス売上が収益の柱となっております。免疫細胞療法総合支援サービス売上の増加、細胞医療用機器・資材売上の増加に加えて、人材派遣売上の発生等もあり、売上高は463,748千円(前年同期比56,666千円増、13.9%増)となりました。セグメント損失は、平成27年5月に品川細胞培養加工施設(品川CPF)の第1期工事が完成したことによる減価償却費等の諸経費の増加等により、95,470千円(前年同期はセグメント損失84,685千円)となりました。

②細胞医療製品事業

細胞医療製品事業については、当社グループで行っている研究開発の成果とともに、これまで継続的に行ってきた大学病院等との共同研究を通じて、細胞医療製品の可能性を探求しております。また、国内外で行われている細胞医療製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得を視野に入れた活動も行っております。細胞医療製品事業は、細胞医療製品の可能性を評価するための先進医療を実施している契約医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービスの提供や当社グループがこれまで獲得した知財活用等により、収益を計上しております。前連結会計年度から引き続き、研究開発投資の収益獲得に向けた再評価を行い、研究開発費の適正化を図ったことにより、売上高は1,598千円(前年同期比6千円増、0.4%増)、セグメント損失は119,093千円(前年同期はセグメント損失140,343千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて105,004千円増加し、9,002,386千円となりました。流動資産は4,878,320千円と前連結会計年度末に比べ208,035千円増加しており、主な要因は現金及び預金の増加134,909千円、有価証券の増加200,000千円及び流動資産その他に含まれる未収消費税等120,758千円の減少です。固定資産は4,124,065千円と前連結会計年度末に比べ103,031千円減少しており、主な要因は有形固定資産の減少52,530千円、投資有価証券の減少30,639千円及び長期前払費用の減少22,038千円によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて458,968千円増加し、2,183,058千円となりました。そのうち流動負債は1,218,299千円で前連結会計年度末に比べて38,228千円減少しております。主な要因は未払法人税等の減少10,255千円、賞与引当金の減少44,049千円及び流動負債その他に含まれる前受金の増加18,964千円です。固定負債は、前

連結会計年度末に比べて497,196千円増加し、964,759千円となりました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の増加500,000千円です。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失370,446千円、新株予約権の増加14,443千円等により前連結会計年度末に比べて353,963千円減少し、6,819,327千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の80.3%から75.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は平成27年11月13日に公表した数値に変更はありません。連結業績予想の修正については、連結業績に影響を与える見積りや将来予測等を含め、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想をセグメント別に表すと以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結予想額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,180	4	2,184	—	2,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,180	4	2,184	—	2,184
セグメント損失(△)	△115	△1,540	△1,655	△700	△2,355

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△700百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、連結業績予想の営業損失と調整を行っております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,211,801	2,346,710
売掛金	302,540	318,761
有価証券	1,600,000	1,800,000
原材料及び貯蔵品	98,431	90,413
その他	457,511	322,434
流動資産合計	4,670,284	4,878,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,367,363	1,327,676
その他(純額)	334,708	321,865
有形固定資産合計	1,702,072	1,649,542
無形固定資産		
	320,542	317,535
投資その他の資産		
投資有価証券	592,451	561,812
長期貸付金	1,539,760	1,544,320
長期前払費用	493,926	471,888
貸倒引当金	△580,000	△580,000
その他	158,344	158,967
投資その他の資産合計	2,204,482	2,156,987
固定資産合計	4,227,097	4,124,065
資産合計	8,897,381	9,002,386
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,361	105,859
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	22,600	12,345
賞与引当金	85,875	41,825
資産除去債務	950	950
その他	237,740	257,318
流動負債合計	1,256,527	1,218,299
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	500,000
資産除去債務	212,514	213,300
その他	255,048	251,458
固定負債合計	467,562	964,759
負債合計	1,724,090	2,183,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566,093	6,566,093
資本剰余金	7,978,653	7,978,653
利益剰余金	△7,511,382	△7,881,829
株主資本合計	7,033,364	6,662,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,408	111,448
その他の包括利益累計額合計	109,408	111,448
新株予約権	30,518	44,962
純資産合計	7,173,291	6,819,327
負債純資産合計	8,897,381	9,002,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	408,674	465,347
売上原価	261,763	284,142
売上総利益	146,910	181,204
販売費及び一般管理費	580,333	556,001
営業損失(△)	△433,422	△374,796
営業外収益		
受取利息	12,295	10,989
為替差益	124,886	4,634
その他	5,934	3,578
営業外収益合計	143,116	19,202
営業外費用		
支払利息	1,870	3,256
社債発行費等	—	645
設備賃貸費用	1,624	1,624
その他	0	—
営業外費用合計	3,494	5,525
経常損失(△)	△293,800	△361,120
特別損失		
固定資産除却損	289	—
投資有価証券評価損	—	3,733
関係会社清算損	—	3,318
特別損失合計	289	7,051
税金等調整前四半期純損失(△)	△294,090	△368,171
法人税、住民税及び事業税	2,601	2,819
法人税等調整額	△9	△544
法人税等合計	2,592	2,275
四半期純損失(△)	△296,682	△370,446
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△296,682	△370,446

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△296,682	△370,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,141	2,039
その他の包括利益合計	8,141	2,039
四半期包括利益	△288,540	△368,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△288,540	△368,407
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	407,081	1,592	408,674	—	408,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	407,081	1,592	408,674	—	408,674
セグメント損失(△)	△84,685	△140,343	△225,029	△208,393	△433,422

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△208,393千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	463,748	1,598	465,347	—	465,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	463,748	1,598	465,347	—	465,347
セグメント損失(△)	△95,470	△119,093	△214,564	△160,232	△374,796

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△160,232千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。